

地方自治体意見伺ふ会
議会報告会



議会報告会は 次の順序で進めます

- 議長あいさつ
- 富良野市議会議員の紹介、議会構成について
- 委員会報告について
- 終了あいさつ

富良野市議会の構成



富良野市議会議員の定数と任期

富良野市議会の議員定数は、
16名です。

任期は、令和5年5月1日から
令和9年4月30日まで(4年間)

富良野市議会議員の紹介

議席 1番		宮田 均	経済 建設
議席 2番		松下 寿美枝	議会 運営 経済 建設 議会 広報
議席 3番		橋詰 亜咲美	総務 文教 議会 広報
議席 4番		家入 茂	総務 文教 議会 広報
議席 5番		坂口 邦夫	市民 福祉 議会 広報
議席 6番		関野 常勝	経済 建設
議席 7番		佐藤 秀靖	議会 運営 市民 福祉 議会 広報
議席 8番		大西 三奈子	議会 運営 総務 文教 議会 広報

議席 9番		二宮 利和	総務 文教 議会 広報
議席 10番		今 利一	副議長 市民 福祉
議席 11番		大栗 民江	市民 福祉
議席 12番		天日 公子	議会 運営 市民 福祉
議席 13番		石上 孝雄	議会 運営 経済 建設
議席 14番		後藤 英知夫	議会 運営 総務 文教
議席 15番		本間 敏行	経済 建設
議席 16番		渋谷 正文	議長

富良野市議会の委員会について

○ 常任委員会

議会運営委員会、総務文教委員会、
市民福祉委員会、経済建設委員会

○ 特別委員会

議会広報特別委員会、議会改革特別委員会、
決算審査特別委員会、予算特別委員会

その他、必要に応じて会議体を構成します。

総務文教委員会 報告

General Affairs and Education committee report 2025

DXの推進
について

Furano city council



後藤英知夫

二宮利和

橋詰亜咲美

各委員



家入茂
副委員長

大西三奈子
委員長

総務文教委員の紹介

Committee members

Furano city council

調査項目 (継続中)

調査第1号 「DXの推進について」

期間：令和7年6月より調査中

選定理由と経過

～ひとに優しいデジタル都市をめざして～



総務文教委員会 報告

General Affairs and Education committee report

○ 富良野市DX推進計画(人に優しいデジタル都市をめざして)に基づき、DXのこれまでの取組を把握。8つの基本施策の内

- ① 暮らしのデジタル化とデジタルデバйд対策
- ② デジタル人材の育成
- ③ オープンデータ・官民データ利用
- ④ 行政手続きオンライン化
- ⑤ AI・RPAの利用

に焦点を絞り、特に市民の利便性向上に向けた「地域社会DX」としての①及び②に重点を置き議論を掘り下げた。

Furano city council



「DXの推進について」

1、暮らしのデジタル化の取組

■ デジタル田園都市国家構想推進交付金の活用

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
書かない窓口 導入事業	AIオンデマンド 交通導入事業	オンラインの居場 所づくり導入事業	粗大ごみ受付 システム導入事業
デジタル健康ポイン ト導入事業	「ふらのり」	「メタバース」	9月1日から受付開 始
※令和7年6月末 登録者数781名	※令和7年6月末登 録者数700名	※自宅からつながれ る「e-くらす」	※いつでも、市公式 LINEで申込み

■ IT導入支援事業(富良野市中小企業振興総合補助金)

企業の業務の効率化、デジタル化の推進を図るために必要な経費の補助を行っている。

総務文教委員会 報告

General Affairs and Education committee report

Furano city council

「DXの推進について」

2、デジタルデバйд対策

■市民を対象にしたスマホ教室やデジタル共創ワークショップ、令和7年度は「自治会業務活用セミナー」が開催され、看護専門学校での情報科学の講義も実施。

3、デジタル人材の育成

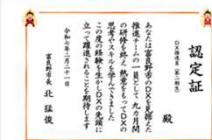
■全職員を対象にした、デジタル化に関する研修を令和2年より毎年行っている。

■令和5年度から、「DX推進員」の育成を開始。令和9年度までに全職員の20%に相当する50名程度を育成予定している。

■DX推進員は、共通業務のDX化を経験し、月一回のペースで業務フロー・ローコードアプリの作成を行っている。令和6年度は、「出勤簿管理アプリ」を開発している。



認定証とDX推進員オリジナルネックストラップを市長から渡しました



総務文教委員会 報告

General Affairs and Education committee report

Furano city council

「DXの推進について」

中間報告・ 都市事例調査

○中間報告(令和7年第3回定例会にて報告)

■市民生活の足の確保として① AIオンデマンド交通「ふらのり」の充実② デジタルに不慣れな市民だけでなく企業への支援も含めてのデジタルデバйд対策の必要性③ 庁内各部局に横串を入れた横断的な取組の実現の為、デジタル人材の育成が重要である。

○都市事例調査へ

■今後、更に調査を深めたい事から先進事例都市として「釧路市」を選定し、調査を進める事としました。



■ 調査日:10月21日

Furano city council

総務文教委員会 報告

General Affairs and Education committee report

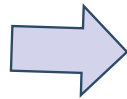
「DXの推進について」

生成AI による画像作成



■作成した際のAIへの指示文はこんな感じです。

- ①富良野市の美しい風景をさりげなくいれる。
- ②人は笑顔の表情にして下さい。
- ③画像はアニメ風にして下さい。
- ④市民や学生と対話している様子など。



FARM TO TABLE INITIATIVE



総務文教委員会 報告

General Affairs and Education committee report

○ スマートシティ戦略室の協力により画像を作成しました。

Furano city council

以上、総務文教委員会からのご報告です

～ 詳しくは、下記 QR コードよりご確認ください！～



総務文教委員会 報告

General Affairs and Education committee report

Furano city council

市民福祉委員会

令和7年度活動報告



富良野市議会
議会報告会

市民福祉委員の紹介

富良野市議会
議会報告会



富良野市議会
議会報告会

富良野



富良野市議会
議会報告会



富良野市議会
議会報告会

今 委員

坂口 委員

大栗 委員

佐藤 委員長

天日 副委員長

富良野市議会
議会報告会

富良野市議会
議会報告会

富良野市議会
議会報告会

市民福祉委員会の所管

市民生活部、保健福祉部、
看護専門学校の所管に関する事項

富良野市議会
議会報告会

富良野市議会
議会報告会

富良野市議会
議会報告会

令和7年度 調査項目紹介

- ふれあいセンターの利用の検証と
今後の在り方について

調査期間

第2回定例会（6月）～第3回定例会（9月）

- 多文化共生社会の推進について

調査期間

第2回定例会（9月）～ 調査中

・ふれあいセンターの利用の検証と 今後の在り方について

【調査項目を選んだ理由】

建設から40年以上経過し建物の老朽化が進んでいますが、運転免許証の更新時講習会場となったこともあり利用者が増えていることから、利用の検証と今後の在り方を調査することとしました。



富良野市議会
議会報告会

【現地調査】

栄養指導室
(調理室)



教養娯楽室

陶芸室



音楽室



建物裏側の臨時駐車場への通路

ふれあいセンターの利用の検証と今後の在り方について

最終報告で提言した内容

1. 長期的な視点にたった修繕計画を策定する必要がある。
また、利用者の利便性を考慮した駐車場及び空調設備の整備が必要である。
2. 外国人材などとの多文化共生のための講座の開催や、外国人や子ども達と高齢者との交流により、遊びや文化・習慣を教える仕組みづくりなど、利用促進に繋げるべきである。
3. 栄養指導室を活用した高齢者向けの栄養料理教室や栄養教養講座の開催等を通じて、高齢者の福祉増進及び介護予防に資する取組みを強化するべきである。



現在、調査中の項目

富良野市議会
議会報告会

富良野市議会
議会報告会



富良野市議会
議会報告会

多文化共生社会の推進について

人口減少が進む富良野市において多くの産業界で外国人材が活躍しています。
多様な文化との共生社会の在り方について調査しています。



経済建設委員の紹介

所管は
経済部、ぶどう果樹研究所、建設
水道部、農業委員会に関する事項
です。



宮田 均 関野 常勝 本間 敏行
◎石上 孝雄 ○松下 寿美枝

経済建設委員会報告

調査第3号

道路の維持管理について

道路の維持管理について

- 本市が進めている道路整備や橋梁の維持管理について、現状の把握と課題および対策、今後の取組について調査を実施。
- 取組の状況を確認するため、市内の学校通学路やバリアフリー路線など、計9箇所の現地視察を行いました。

道路の維持管理について

「**富良野市橋梁長寿命化修繕計画**」の策定により、従来の事後対応型の修繕から**予防的な対策へと円滑に移行し、橋梁の長寿命化を促進**するとともに、**修繕費用の削減**を目指しています。また、**地域の道路網の安全確保**にも力を入れています。

道路の維持管理について 市内視察①

今後、修繕を行っていく計画のある橋の視察。



住宅街の通学路の安全確保の取組について視察。白線を引き直した部分の確認。

道路の維持管理について

高齢者や障がい者が安全かつ安心して歩行できる環境を目指し、

平成15年に

「富良野市交通バリアフリー基本構想」を、

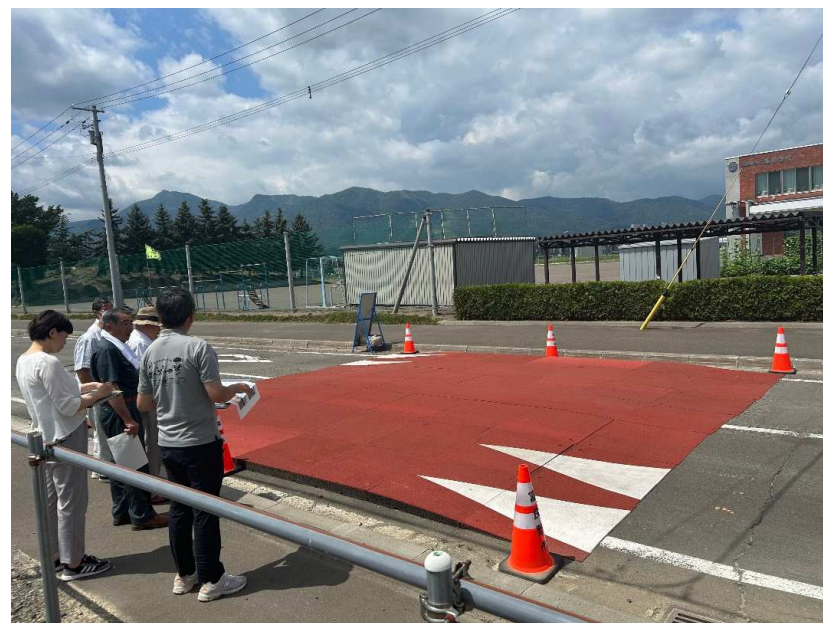
平成18年には

「富良野市交通バリアフリー特定事業計画」を策定しました。

これらを基に、重点地区内の駅や官公庁施設、病院などを結ぶ路線のバリアフリー化を推進しています。

道路の維持管理について 市内視察②

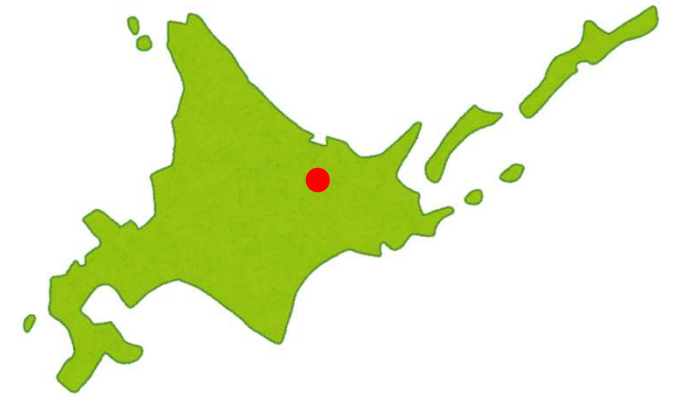
交通バリアフリー特定事業計画に基づき、今後整備を進めていく現場。



交通安全プログラムにて課題となった箇所に設置されたハンプ。
実証実験中である。

委員会で出た主な意見

- 学校通学路におけるレンタカーや、バス、トラックなどの大型車両の通行が近年増加しており、早急な看板設置や、歩車分離などによる対応が課題ではないか。
- 通学路におけるハンプの設置は、常設が望ましい。
- 防災対応を見据えた道路整備や地域要望、地域ニーズを重視した維持管理を行っていく必要性もあるのではないか。



10月に先進地事例調査として北見市へ視察に行き、
12月の本会議にて、最終報告を行う予定です。

以上で、**経済建設委員会**からの報告を終わります。

北海道 富良野市

議会運営委員会

へそとスキーとワインのまち

令和7年 活動報告

議会運営委員会 委員の紹介

佐藤委員

松下委員

石上委員



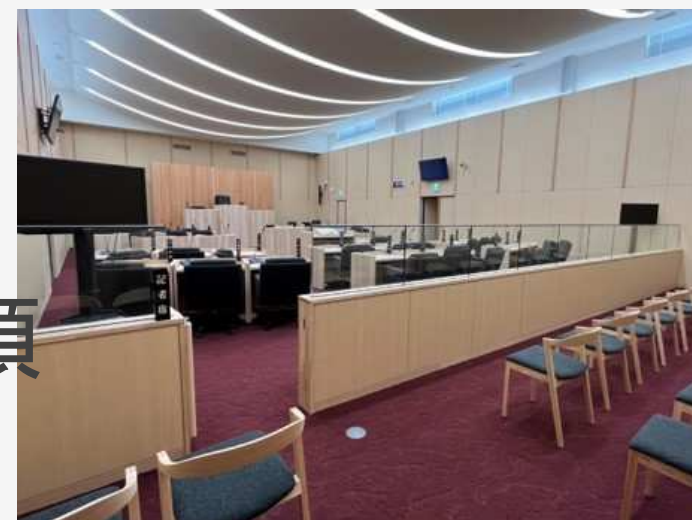
大西副委員長

後藤委員長

天日委員

議会運営委員会の所管事項

- 議会の運営に関する事項
- 委員会の会議規則や
委員会に関する条例などの事項
- 議長の諮問に関する事項



傍聴席から見た議場

令和 7 年調査件名「議会改革について」

検討の経過、委員会で出された意見は以下の通り

- 1 こども議会とまちづくりトークの主催を代表者会議から議会運営委員会に変更し、柔軟な運用により広聴の活性化を図ることと、広報紙での宣伝を常態化させる。
- 2 議員倫理について、深堀学習と議員間での共有を醸成する。
- 3 議会基本条例の評価基準（評価シート）の確認と評価スケジュールとして、12月の第4回定例会までに会派での検証を行い、令和8年3月に行われる第1回定例会までに議会運営委員会での結論を得ることとする。その結果に基づき、令和8年度に必要な取り組みを行い、できないことは申し送りとしてまとめる。
- 4 都市事例調査は、今後の調査の動向を見ながら許可を得る方向とする。